

平成28年度における取組事業

①事業の概要	②事業の結果	③事業の今後の改善点
<p>【広陵元気号の本格運行】 従前、2路線で運行していたコミュニティバスを、幹線と支線を組み合わせた3路線に再編し、平成28年10月から有料化したうえで本格運行を開始した。</p>	<p>【利用者数】 15,331人(平成28年10月～平成29年2月) 目標: 27,000人/年(平成33年度)</p>	<p>有料化前と比較すると利用者が減少しているため、運行ダイヤの定着を図るとともに、利用者を増やす取り組みを継続して行っていく。 無料時: 3,209人/月平均 有料時: 3,066人/月平均</p>
<p>【車両のラッピング、方面別カラーリング等の実施】 コミュニティバスに対して、町民に愛着をもってもらうために、町内の小中学生を対象にデザインを募集し、それをもとにラッピングや方面別のカラーリングを行った。また、ラッピングには、町のイメージキャラクターも登用した。</p>	<p>小中学生だけでなく、コミュニティバスの存在を知らなかった親世代にも、愛着とともに周知を図ることができた。</p>	<p>コミュニティバスの存在を知らなかった世代にも、愛着とともに周知を図ることができたので、今後は利用者を増やす取り組みを継続して行っていく。</p>
<p>【時刻表の作成・配布】 コミュニティバスの運行内容が変更になるのを機に、コミュニティバスの内容だけでなく、鉄道や路線バスが一体となった公共交通総合時刻表を作成した。それを町内全戸に配布するとともに、公共公益施設等にも設置し、利用促進につなげるために、町民や来町者への周知を図った。</p>	<p>時刻表を町内全戸に配布するとともに、公共公益施設等にも設置し、利用促進につなげるために、町民や来町者への周知を図った。</p>	<p>今後もコミュニティバスの運行内容等が変更になる場合には、時刻表を作成・配布し、周知を図っていく。</p>